

民謡と三味線でお贈りするユニット！

lagu★lagu

ラグーラグー

令和4年のマレーシアでの
民謡公演を機にユニットを結成。
ラグとはマレー語で「唄」の意味。
三味線と唄というシンプルな編成で
日本各地の民謡を独自の切り口から紹介する。
民謡が演奏されてきたバックグラウンドや
地域性を大切にしながら、「唄心」に焦点を
あてた女性二人のステージです。



唄・津軽三味線
加藤 恵理奈

唄・津軽三味線
田中 志穂

演奏曲目

道南口説節
道南盆唄
津軽じょんから節
南部俵積み唄
ソーラン節 など



有限会社

Ezo'n music

TEL&FAX:011-788-7200

お問い合わせはエゾンミュージックへ

E-mail:office@ezon-music.com

〒007-0806 札幌市東区東苗穂6条1丁目15-20



Ezon music 検索

lagu★lagu ラグーラグー

二刀流の名の
民謡歌手タッグ
!!



唄・津軽三味線
加藤 恵理奈



北海道帯広市出身。
3歳頃より民謡を、10歳から父より
津軽三味線の手ほどきを受ける。
幼少期より民謡コンクールで頭角を現し、
平成22年道新杯全道民謡決勝大会
「北海道民謡の部」優勝。
同年、石狩川流れ節全国大会において名人位獲得。
他にも総合グランプリ受賞など数々の賞を獲得する。
現在は父が築き上げた「日本民謡 津軽三味線 加藤流三絃会」
の代表を務め、後進の育成にも力を注ぎ、
全国各地の演奏活動を行う。「加藤恵理奈」の
唄声は民謡という枠を越え、生まれ育った北海道十勝の
風景を描写できる唄い手として注目を集める。
その活動はラジオや新聞にも多数取り上げられ、
コンサートのプロデュースも多数手がける。
「心に響く唄」をテーマに掲げた活動は、
地元十勝をはじめ、教育機関や、市町村での祭りなど、
行き先々で評判が高い。とちか観光大使。



唄・津軽三味線
田中志穂



横浜出身。10歳より津軽三味線を始め、
津軽三味線・民謡を高橋ゆきじ、
高橋流家元高橋祐次郎に師事。
高橋流名取（雅号・祐希穂）。
太鼓・唄を木津茂理に師事。現在は仲原真理子に師事。
高橋祐次郎率いる津軽合奏団「KAZE」の
メンバーとして各地でのコンサートに出演。
また「KAZE ジュニア隊」として
国立オリンピック記念青少年総合センター主催
「青少年舞台芸術フェスティバル（'01）」に参加
「和洋楽器グループコンテスト（'07）」審査員特別賞、
「和の響きグループコンテスト in 塩原（'08）」優秀賞を受賞
「全国津軽三味線コンクール大阪大会（'10）」
一般女子の部第3位入賞。
2010年国際交流基金派遣事業による邦楽公演 in 上海万博
「日本のうた囃子～唄、笛、三味線、
太鼓による日本の響き～」に参加。
その他トルコ、メキシコなど海外公演に参加。
2011年より三味線二挺によるデュオオリジナル曲を中心に
ライブを行い、ポップスや映画音楽のカバーにも取り組む。
2022年日本民謡協会 令和四年度民謡民舞全国大会
成年部旗戦（梅の組）優勝。

